

目次

政策提言の要旨	1
はじめに	2
第1章 行政評価の導入状況	
1 行政評価とは	2
2 行政評価の導入状況	3
3 英国での制度見直しの動き	5
第2章 X市の行政評価の現状と課題	
1 現状	6
2 課題	7
第3章 課題解決のための考察	
1 目的の明確化	7
2 住民参加	10
3 行政評価をもっとポジティブに！	11
第4章 提言	12
～元気が出る行政評価～	
おわりに	14

<参考文献>

- ・「地方公共団体における行政評価の取組状況」（平成21年10月1日現在）（総務省）
- ・「地方自治体における行政評価等への取り組みに関する実態調査 2009年調査結果」（株式会社三菱総合研究所）
- ・「地方自治体における行政評価12年の歩みと今後の展望」（田淵雪子）
- ・「英国行政大改革と日本ー「地方自治の母国」の素顔ー」（内貴滋）

政策提言の要旨

行政評価の現状

- 全国の7割の市区が行政評価を導入している
- 仮想X市でも、事務事業評価と施策評価を実施しているが、多くの職員が徒労感・やらされ感を感じている。

この「やらされ感」はどこから来る？

課題の抽出と考察

もっと簡単に
評価できないの？

職員の意識が
伴っていないのでは？

目的が明確でない
からでは？

目的が明確になれば解決可能

その割に住民の関心
は低いから・・・

でも、それだけ？
もっと
根本的問題は？

考察1
目的の明確化
(導入目的を再検証)

考察2
住民参加手法の再設計
(外部評価より説明責任)

考察3
ポジティブに活用
(査定主義からの脱却)

提言

元気が出る行政評価

新たなPDCA

positive	積極的(肯定的)思考で！
drastic	前例にとらわれず大胆に！
cheer	組織を元気に！
appeal	成果をアピール！

効果

職員のやる気が出る

事業水準の向上が図られる

質の高い行政サービスの実現